

科目名		憲法特殊講義Ⅱ	
担当教員	荒牧重人	科目区分	選択必修科目
開講区分	後期	単位数	2単位
曜日時限	水曜・1時限	開講年次	1年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法政治の現実をふまえながら、憲法と憲法政策のあり方について検討します。 ・平和政策・環境政策・子ども政策というトピカルな3つの分野についてその歴史的展開と今日的課題を把握します。 ・憲法の理念や規定を活かす憲法政策の課題を探求します。 		
授業概要	<p>憲法特殊講義Ⅰもふまえながら、Ⅱでは、憲法の理念や規定を具体化する憲法政策について研究します。憲法政策論は、憲法学では「弱い」分野で、課題の多いところです。授業では、日本国憲法の焦点である平和政策、地球規模の課題である環境政策、そして権利主体としては十分に位置づけられていない子ども政策という3つの分野について検討します。</p> <p>授業の方法としては、憲法理念や規定にかかわる憲法政策について具体的な事例を双方向で検討します。そして、当該問題の歴史的および国際的な展開をふまえながら、問題の所在や解決策を討論します。</p>		
授業計画			
回数	内容		
第1回	憲法政治の現実と憲法政策		
第2回	憲法学と憲法政策・論		
第3回	憲法の平和主義と平和政策の歴史的展開		
第4回	憲法「改正」と平和主義		
第5回	憲法の平和主義と平和政策 その1		
第6回	憲法の平和主義と平和政策 その2		
第7回	地球環境と環境対策の国際的展開		
第8回	憲法と環境		
第9回	原発・エネルギー問題と環境政策		
第10回	環境権と環境政策		
第11回	子ども政策の国際的動向		
第12回	少子高齢化時代における子ども政策の動向		
第13回	子ども政策と自治体 その1		
第14回	子ども政策と自治体 その2		
第15回	憲法政策のゆくえ		
準備学習等 (課題・予習・復習・調査等)	<p>各回の最後に次週の準備学習についてコメントします。</p> <p>それぞれのテーマにかかわる今日的課題について資料・データ等を探し、それらを読み込むとともに、自分なりの見解を持って講義にのぞんでください。</p>		
評価方法・基準 ・講評の方法	<p>講義における質疑応答・討議の能力(30%)、レポート(70%)を総合的に判定します。</p> <p>レポートにコメントをつけて返却します。もちろん、希望する学生には研究室等で直接対応します。</p>		
テキスト・参考書	<p>芦部信喜『憲法 第7版』(岩波書店、2019年)</p> <p>ただ、憲法の「教科書」ではあまり取り上げられていない分野なので、適宜資料を配付します。</p>		
前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針	<p>講義と報告と討論を組み合わせで展開します。</p> <p>受講者の主体性が活かせ、かつ双方向になるように内容や進め方等を工夫します。</p>		
学生への メッセージ	<p>以前から言われている言葉ですが、Think globally act locallyの精神をもって、ともに憲法の理念や規定を政策論まで展開できるようチャレンジしていきましょう。</p>		
授業に参考と なるサイト	<p>政府関係省庁のホームページほか、授業内容に応じて適宜紹介します。</p>		
関連する画像			
その他・備考			